



**佐賀の伊与木川を守る会  
佐賀保育所児童らがアユ放流**

5月25日、不破原地区で伊与木川に稚アユの放流を行いました。「佐賀の伊与木川を守る会」(西村策雄会長)が主催し、今年で3回目。佐賀保育所の年中・年長の児童38人と、同会会員らが参加しました。

今回放流した稚アユは約2100匹で、会員の会費と町内建設業者10社の寄付により購入。子どもたちは「アユさん、大きくなってね」と、澄んだ川の中を泳ぎ去る姿を見送りました。

「アユの放流を通じて、子どもたちに命を大切にする気持ちが生えている」と会計の弘田一男さん。役員の力を借りながら、今後も続けたいと話していました。

**平成27年春の叙勲を受章  
元消防団分団長・山中孝明さん**

4月に春の叙勲が発令され、黒潮町鈴の山中孝明さんが瑞宝単光章を受章しました。

昭和49年4月に佐賀町消防団鈴分団員として入団した山中さん。「団として活動した40年間は長いようで短かった。山林火災や行方不明者の捜索、風水害など、さまざまな災害に出くわした。退団はしたが、体に染みついた行動パターンを、地域の中で活かしたい」。鈴地区は近隣の消防分団と離れているため、地区内の火災は自分たちで対応せざるをえません。山中さんは、OBとなった今でも、知識経験を活かして地区の平和を守っています。(総合窓口第1係)



瑞宝単光章を受章した山中孝明さん。5月27日に県庁で行われた春の叙勲伝達式で、尾崎知事より勲章が授与されました。



## ぐっち協力隊がゆく!

地域おこし協力隊・田口佳子  
☎43-3306 (旧馬荷小学校)

ひまわりが日に日に背を伸ばすこの頃、みなさんお変わりないですか?

さて今回は、馬荷の福堂地区のお宮「須賀神社」のお話です。古い記録は残っておらず詳しいことはわかりませんが、推定築100年前後。

昨年暮れに雨漏りが見つかり、瓦の葺き替えを行うことになりました。福堂地区は20戸、約50人の小组ですが、地区住民と出身者から寄付を募り、費用を集めました。3月に住民らが力を合わせ、葺き替えスタート!4月末に完成し、5月31日に落成式と餅投げをして完成を祝いました。前日には、地区の住民らが家族総出で朝早くから2俵(約3500個)の餅をつきました。また、100年前の貴重な古い瓦は、お宮の中に祭壇を作って飾りました。



福堂地区は人口が少ないながらも、たくさんの行事があり、山の神、大師堂、金毘羅さんなど、古くから伝わる文化を守り受け継いでいます。少子高齢化でどこの集落も人口減少が問題ですが、これからも文化継承して行けるよう、今、私たち若い世代にできることをやろうと再確認しました。



- 1 雨漏りを修復するため、100年前の貴重な瓦を大切に降ろします。
- 2 完成祝いの前日、住民らが家族総出でもちを準備しました。
- 3 瓦を葺き替えた須賀神社。古い貴重な瓦は、お宮の中に飾っています。